



SATUDORA HOLDINGS

2017年10月12日

報道関係各位

サツドラホールディングス、トヨタ自動車との 「地域活性化アプリの実証実験」開始のお知らせ ～ EZOCA × TOYOTA「みちくさナビ」の提供開始～

サツドラホールディングス株式会社（本社：北海道札幌市 代表取締役社長 富山 浩樹、以下「サツドラHD」という）は、トヨタ自動車株式会社（本社：愛知県豊田市 代表取締役社長 豊田 章男、以下「トヨタ」という）と共同で、下記のとおり、北海道内における“地域生活支援アプリ”「EZOCA × TOYOTA「みちくさナビ」」のサービス提供を11月下旬（予定）に開始いたします。

記

1. 実証実験の背景

サツドラHDは以前から将来のチェーンストアと地域の発展を遂げるために「移動（モビリティ）」を重要なテーマの一つとして考え、北海道内を中心に同分野の推進をおこなってきました（※参考：SII 構想 <https://sii.hokkaido.jp/>）。またトヨタはモビリティを通じて、人びとの生活や社会を豊かにすることを目指し、地域に根差したサービスの構築を検討してきました。

今回その両社のビジョンが合致し、サツドラHDは北海道という地域におけるチェーンストア・顧客基盤という強みを、トヨタは自動車産業で培ってきたノウハウをお互いに持ち寄ることで、新たな地域活性化アプリの提供および実証実験を行うこととなりました。

2. アプリの概要

「みちくさナビ」は、アプリ利用者に対し利用者自ら“ちょっとした願い”を入力する「みちくさリスト」に応じたお得なクーポンやイベント情報の提供をおこなうことで、クルマ以外も含めた生活で移動するときの“楽しさ”“発見”を軸とした“新しい生活体験”を演出し、「移動」を通じて地域の暮らしを活性化することを目的とし、サツドラHDとトヨタで共同開発するものです。情報提供においては、サツドラHD子会社がもつ北海道を代表する地域共通ポイントカード「EZOCA」の会員（会員数約150万人 2017年9月末時点）属性情報と、ドラッグストア178店舗（道内店舗数 2017年9月末時点）分のPOS分析データに加え、株式会社トヨタマップマスター（本社：愛知県名古屋市 代表取締役社長 東 重利）が提供するダイナミックPOI(Point of Interest)*、さらには株式会社調和技研が運営する北海道イベント情報サイト「びもーる」のイベントデータ等を活用し、利用者に最も適したクーポンやイベント情報を提供していきます。

3. 実証実験の計画

11月下旬を目処に EZOCA 会員を中心とし、「みちくさナビ」のβ版の提供を開始する予定です。サツドラHDの持つ各種メディア、店舗、イベント開催等を通じアプリ利用者の獲得を図ります。さらには、来年2月を目処にアプリをアップデートし、AIを活用した情報提供機能などを織り込んでいく予定です。詳細情報については、順次発表をおこなっていきます。

*施設情報提供者本人がクーポン・イベント・混雑状況などのリアルタイム情報を登録することで、利用者の位置情報に応じた情報を提供することができる新世代の位置情報サービス

□地域生活支援アプリ概要

ア プ リ 名 称：EZOCA × TOYOTA「みちくさナビ」

サービス対応OS：iPhoneはiOS9以降、Android端末はAndroid5以降

サービス開始日：2017年11月下旬

サービス提供エリア：北海道全域

アプリの主な機能：

- ① 生活者の願い事の達成を支援する「みちくさナビ」機能
- ② 目的地・アクションのオススメ機能
- ③ 現在地周辺のオススメ情報表示機能
- ④ クーポン、ポイントの提供機能

画面イメージ：



※参考：Satudora Innovation Initiative (SII) <https://sii.hokkaido.jp/>

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

■サツドラホールディングス株式会社

SII 事務局 杉山 h-sugiyama@satsudora.jp